

売上高比較表

単位：円

	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021
1月		1,234,567	801,801
2月	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>令和元年、令和2年の売上高はどちらか一方（減少幅の大きいほう等）の記入でかまいません。令和2年2月以降に開業された場合は、開業当初からの売上をご記入ください。</p> </div>	1,234,567	801,801
3月		1,234,567	801,801
4月		1,234,567	801,801
5月		1,234,567	801,801
6月		1,234,567	801,801
7月		1,234,567	801,801
8月		1,234,567	801,801
9月		1,234,567	801,801
10月		1,234,567	
11月		1,234,567	
12月		1,234,567	
合計	A 円	営業月数 12 月 B 14,814,804 円	1月～6月の合計 C 4,810,806 円

※A、Bは、申告書の事業売上額と同額を記載してください。

※Cは、任意の連続した6月の売上額の合計を記載してください。

※比較する売上額は、有田町にある店舗や支店、事業所の売上額だけではなく、事業全体の売上額で比較するため、有田町外の店舗や支店、事業所がある場合は、その売上額を含めた事業全体の売上額を記載してください。

■令和2年1月以前に開業している場合■

比較額	$A \div 2 = D$ (小数点以下切捨) D 円	$B \div 2 = E$ (小数点以下切捨) E 7,407,402 円	C 4,810,806 円
減少率	$【1 - \{C \div (D \text{ 又は } E)\}] \times 100 = \underline{35} \%$ (小数点以下切捨)		

■令和2年2月から12月に開業している場合■

比較額	$B \div (\text{営業月数}) \times 6 = F$ F 円	C 円
減少率	$【1 - (C \div F)] \times 100 = \underline{\quad} \%$ (小数点以下切捨)	

■令和3年1月以降に開業している場合■

※売上高比較表に売上高を記載して提出（郵送）してください。

内容を精査し、交付の可否を判断いたします。

当社（私）の売上額については、上記に相違ありません。

売上額が10%以上減少しています。

事業所住所 有田町立部乙 2202
 事業所名 株式会社 商工観光
 代表者名（氏名） 有田 太郎

（法人の場合は、法人の住所、名称、代表者氏名）